

◎ 聴解問題スクリプト

Track 22

13番 女子学生と男子学生が、大学の学生食堂の新しいシステムについて話しています。
この女子学生は、新しいシステムのどんな点がいいと言っていますか。

女子学生：今度「学食パス」のシステムが導入されるの、知ってる？

男子学生：学食パス？ ああ、バスとか電車の運賃の支払いに使うカードが、学生食堂でも使えるようになるっていう、あれ？

女子学生：そう。インターネットの自分専用のページに食事の履歴とか栄養価が表示されるから、栄養バランスのチェックもできるんだって。

男子学生：へえ。じゃあ、栄養の偏りなんかを大学に指摘されたりするのかな？

女子学生：大学はそこまでしないよ。でも、パスワードを共有すれば、離れて暮らす親も子供がどんな食事をしてるか見られるんだって。

男子学生：親に食事内容が知られちゃうわけか。せっかく気ままな一人暮らしをしてるのに、ちゃんにご飯を食べなさいって、小言いわれそうだな。

女子学生：いいじゃない。学生はなかなか自分で栄養管理なんかしないから、私はすごくいいアイデアだと思うな。

この女子学生は、新しいシステムのどんな点がいいと言っていますか。

1. 学生が食堂を割引料金で利用できること
2. 親が学生の代わりに料金を支払えること
3. 大学が学生の栄養状態を管理できること
4. 親が学生の食生活を把握できること

Track 23

14番 先生が、ある町の新しい取り組みについて話しています。この先生は、この取り組みは、どのような効果を期待して行われていると言っていますか。

これからお話しするのは、ある町で始めた『農村体験ツアー』という取り組みについてです。その内容は、町の名所を紹介したり、農業現場を案内したり、地元野菜を使った料理を振舞ったりするものです。この町は人口約2,000人の4割以上が、65歳以上の高齢者で、町の地域開発の担当者たちは、特に若者の流出に頭を悩ませています。このツアーは、農村の素晴らしさを知ってもらえば、ここに住んでみたいと思う人が増えるのではないかというのがねらいで、参加者の評判も上々のようです。ツアーの企画担当者は、今後は農家での宿泊体験を盛り込むなどして内容をさらに充実させ、過疎化に歯止めをかけたいと考えているそうです。

この先生は、この取り組みは、どのような効果を期待して行われていると言っていますか。

1. 宿泊体験を通じて高齢者と若者の交流が深まること
2. レストランで地元の野菜が使われるようになること
3. 人々が他の土地から移住してくること
4. 名所や、名産品が評判になり観光客が増えること

Track 24

15番 先生が、心理学の授業で、話しています。この先生は、気分が落ち込んだとき、どうしたら気持ちが楽になると言っていますか。

例えば、夜眠れなくて困っている人がいたとします。そういう人は、「早く寝なければ」という思いが強いために、かえって眠れなくなることが多いのです。そこで医者は、「無理に眠ろうとしなくてもいいんですよ」と指導します。そうすると、眠りに対する執着心を忘れることができます。心も体もリラックスできるので、自然と眠りにつけるのです。この方法は、何かで落ち込んでしまったときにも有効です。「落ち込んではいけな」と焦っても立ち直れず、「自分はだめな人間だ」と余計に気持ちがふさいでしまうことはありませんか。そんなときは、「このままでいいんだ」と開きなおってみると、意外と気持ちが楽になるのです。

この先生は、気分が落ち込んだとき、どうしたら気持ちが楽になると言っていますか。

1. 落ち込んでいる自分を受け入れる。
2. 十分な睡眠をとる。
3. 医者に相談する。
4. 何か別のことに打ち込む。

16番 女子学生と男子学生が、レポートについて話しています。この女子学生は、レポートをいつ提出しますか。

女子学生：おはよう。

男子学生：おはよう。あ、レポートのこと聞いた？

女子学生：え？ 水曜の授業の？ 来週提出のでしょ？

男子学生：そう思ったたでしょ、やっぱり。

女子学生：えっ？ 違うの？

男子学生：本当は、今週の授業のときに提出しなきゃいけないんだって。

女子学生：ええ、どうしよう。

男子学生：でも、締め切りが徹底してなかったようだから、金曜日までなら待ってくれるんだって。

女子学生：ほんと？ よかった。でも、今日が火曜日でしょ、金曜日は課外ゼミで学校に来られないから、あさって出さなくちゃ。田中君は？

男子学生：僕は締め切りぎりぎりまでかかりそうだよ。

この女子学生は、レポートをいつ提出しますか。

1. 今週の水曜日
2. 今週の木曜日
3. 来週の水曜日
4. 来週の金曜日

17番 先生が、生物学の授業で、深海魚について話しています。この先生は、水族館で深海魚を飼うときのどんな工夫について話していますか。

みなさんは水族館で、深海魚を見たことがありますか。深海魚とは名前の通り、深い海に棲む魚のことです。深海というのは一般的に200メートルより深い海のことです。太陽の光も届かない真っ暗な世界です。また深くなればなるほど、周りの海水から押される水圧が高くなります。さて、魚の多くは水中で浮力を得るために、体の中に気体の詰まった浮袋を持っています。水圧の高い深海から魚を引き上げると、水圧の大きな変化によってこの浮袋が膨らんで、弱ってしまうことがあります。それで、水族館では、引き上げられたときに膨れてしまった浮袋の中の気体を、注射針で抜いているんです。こうすれば、低い水圧に魚の体が適応するので、水族館の普通の水圧の水槽でも飼育できるようになるのです。

この先生は、水族館で深海魚を飼うときのどんな工夫について話していますか。

1. 水槽の水圧を高くすること
2. 弱った魚に薬を注射して治療すること
3. 魚の浮袋を取り除くこと
4. 魚の体内にたまっている気体を減らすこと

18番 男子学生が、卒論のテーマについて、先生に相談しています。この先生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

男子学生：先生、卒論のテーマのことなのですが、小栗忠順という幕末に活躍した武士をテーマにしようかと思うんです。

先生：それはどうしてですか。

男子学生：最近、この武士を主人公にした小説を読んで、すばらしい人だと思ったので、その生涯をまとめてみたいと思ったんです。

先生：あ、そうですか。でも、生涯をまとめただけでは、論文とは言えませんよ。

男子学生：はあ……。

先生：まず、その人物について、今までにどのような研究がされ、どのような議論がされてきたか調べてください。それらを検討することを通して、あなた自身の考えを述べていないと論文とは言えないんです。そう簡単なことではありませんよ。

この先生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

1. この人物の生涯を詳細にまとめていくように言った。
2. この人物が生きた時代のことを詳しく調べるように言った。
3. 読んだ小説の話の流れをまとめるように言った。
4. 従来の研究を検討して自分の考えを書くように言った。

19番 先生が、水質の違いと食文化について話しています。この先生は、飲み水が軟水の地域の食文化には、どのような特徴があると言っていますか。

水は、成分の違いによって大きく二つのタイプに分けられます。日本で飲まれるものの大半は軟水で、ヨーロッパで飲まれるものの多くは硬水です。この二つの水の違いは、食文化にも大きくかかわります。まず、軟水というのは、食材からのうまみ、つまり、おいしい成分を水によく溶かし出すのが特徴です。これを利用したのが、昆布などを煮て、うまみ成分たっぷりの出汁と呼ばれるスープをとることを基本とした日本食の文化です。一方、硬水を料理に利用しようとする、うまみ成分が溶け出しにくく、軟水のようにはいきません。そこで、ヨーロッパなどでは、煮るよりも、蒸したり、焼いたり、炒めたりといった、食材自体に含まれる水分を生かした調理法が発達しました。

この先生は、飲み水が軟水の地域の食文化には、どのような特徴があると言っていますか。

1. 食品のうまみ成分を溶かし出す料理が多い。
2. 蒸したり焼いたりする料理が多い。
3. 食材自体の水分を生かした料理が多い。
4. 飲み水に含まれるうまみ成分を利用した料理が多い。

20番 先生が、建築学の授業で、現代に合った建築のあり方について話しています。この先生は、これからはどうすることが必要だと言っていますか。

「建築」と聞くと新しく建物を建てることをイメージする人が多いと思います。しかし、現代の状況に照らし合わせると、建物を建てることばかりを考えてもいられません。例えば、新しい建物を建てるために古い建物を壊すと、壊した建物の建築材料がゴミとなりますが、そのゴミの処理が、今大きな問題となっているのです。

したがってこれからは、現在人が住んでいる建物や使っている建物に手を加えていく、「建築再生」の時代になると言えるでしょう。新しい家は気持ちがいいですが、もともとあるものに少し手を加えることでも、十分快適な家にする事ができるのです。

この先生は、これからはどうすることが必要だと言っていますか。

1. 今ある建物を部分的に作りかえること
2. 住む人の希望に合わせた建物を建てること
3. 古い建物を壊して新しい建物を建てること
4. 新しい建築材料を開発すること

21番 男子学生と女子学生が、履修した授業について話しています。この女子学生は、自分にはこの授業のどんな点が一番よかったと言っていますか。

男子学生：ねえ、確か前期に田中先生の授業、取ってたよね。

女子学生：うん。

男子学生：僕も後期に、取ろうかと思ってるんだけど、どうだった？

女子学生：そうね、レポートは毎週だし、学生が少ないから、発表も月に一度は回ってきたし、大変ではあったよ。

男子学生：そうか。

女子学生：でも、鍛えられたって言ってる人も多いよ。毎週、課題でレポートを提出しなくちゃいけないから、レポートを書くのが得意になったって人もいるし、発表を何回もするから、人前で話すのが苦手だった人も、学期の終わりごろには、緊張しなくなったって言ってるしね。

男子学生：そうなんだ。

女子学生：私は、自分の専門に関する基本的な文献を、とにかくたくさん読めたのがありがたかったなあ。授業についていくために、必死になって読んだから、卒業論文の下準備ができたの。これは本当によかったよ。

男子学生：そうか。大変そうだけど、頑張っ取ってみようかな。

この女子学生は、自分にはこの授業のどんな点が一番よかったと言っていますか。

1. 他の人の発表が聞けたこと
2. レポートを書くのに慣れたこと

3. 何回も発表ができたこと
4. 多くの文献が読めたこと

Track 31

22番 ラジオのアナウンサーが、「アジア・ライブラリー」という図書館について説明しています。この図書館が利用できるのはどんな人ですか。

今日は、私たちの町に新しくできた、珍しい図書館をご紹介します。この図書館は、「アジア・ライブラリー」といって、アジアの国々のことをもっとよく理解しようという市民運動から生まれた図書館です。本の大部分は一般市民から寄付された本で、国内はもちろん、外国へも貸し出しサービスを行っています。夜は、アジア各国の言葉が勉強できる語学教室も開かれていて、利用者は増える一方です。ただ、この図書館は今のところ会員制になっていますので、誰でもすぐに利用できるというわけではありません。この図書館に関心のある方、利用したい方は、電話でお問い合わせになるか、または、ホームページで利用案内をご覧ください。

この図書館が利用できるのはどんな人ですか。

1. この町の住民すべて
2. ホームページを見た人すべて
3. この図書館の会員になった人すべて
4. アジアの国の人すべて

Track 32

23番 女子学生と男子学生が、カエルの調査について話しています。この男子学生は、この調査で何がわかると言っていますか。

女子学生：カエルの調査って、どんなことをしてるの？

男子学生：夜に鳴き声がしてるかどうか、毎日録音してるんだ。

女子学生：え、鳴き声？

男子学生：そう、繁殖期に入るとオスがメスを呼ぶために鳴き始めるんだ。

女子学生：へえ。カエルの産卵行動や卵の数を確認したりするんじゃないんだね。

男子学生：うん。

女子学生：でも、毎晩録音しに出かけたりするのも大変だね。

男子学生：いや、毎晩自動録音できるようにセットしてあるから、出かける必要はないんだ。毎日のデータを調べていくと、どの日からどの日まで鳴いていたかがわかるだろ。

女子学生：ああ、なるほどね。

この男子学生は、この調査で、何がわかると言っていますか。

1. 繁殖期に入ったカエルの数
2. カエルの繁殖の時期

3. カエルが産卵した卵の数
4. カエルの産卵時間の長さ

Track 33

24番 先生が、情報化社会におけるある教育方法について話しています。この先生が話しているこの教育方法の短所はどんなことですか。

情報ネットワークを活用した通信教育は、郵送された印刷物やコンピュータを使って学べる学習方法です。学校へ行かなくても勉強が可能なため、社会人や主婦、高齢者に適した方法だと言われています。学ぶ時間や、学習のやり方などを自分で決めて、自分のペースで学習できるからです。

しかし、その反面、学習内容に強い関心を持ち、自己管理ができる人でなければ、成果をあげるのが難しいようです。時間や場所を問わないということはその分学習者は孤立していることになり、また、自分で決められるということは自分で決めなければならないということでもあるからです。

この先生が話しているこの教育方法の短所はどんなことですか。

1. 学習者に主体性がないと学習効果が出にくいこと
2. 学習者が学習を軽く考えがちなこと
3. 学習者の考え方が偏りやすいこと
4. 教師が学習者の学習状況を管理しにくいこと

Track 34

25番 先生が、歴史的な価値のある古い工場について説明しています。この先生は、工場の建物がそのまま残っているのはどうしてだと言っていますか。

この工場は、明治時代の日本の工業化や近代化を象徴する施設として、創業当時の姿のまままで保存されています。

この工場は、もともと官営模範工場、つまり国が他のお手本となるように作った工場だったのですが、経営状態が思わしくなかったため、まもなく民間企業に払い下げられました。それ以降、工場の敷地は、企業の私有地となり、基本的には関係者以外は立ち入り禁止になりました。敷地はぐるりと塀で囲まれ、近所の住民でさえ、塀の中を見たことがないというほどでした。また、企業の人々が、厳重な管理の下で工場を丁寧に使い続けたことに加え、工場での生産を停止したあとも建物の保存に力を注いだおかげで、この工場は当時のままの貴重な建物として残ったのです。

この先生は、工場の建物がそのまま残っているのはどうしてだと言っていますか。

1. 国の財産として、国に厳しく管理されていたから
2. 創業後すぐに倒産したために、人々から忘れられていたから
3. 民間企業が、大切な建物として守り続けてきたから
4. 近くに住む住民が、建物の保護を呼びかけたから

26番 先生が、農学の授業で、作物の育て方について話しています。この先生は、害虫が作物につきやすいのはどんなときだと言っていますか。

作物を元気に育てるためには、害虫対策は欠かせません。害虫がついてしまう原因は色々ありますが、肥料や水分の量は重要なポイントです。肥料は、元気な作物を育てるためになくてはならないものですが、必要以上に与えると、使われなかった余分な成分が、葉の裏や、体の節々から吐き出されます。すると、害虫が、そうした成分に引かれて寄って来るのです。また、肥料の量は適切でも、水やりを怠ってしまうと、同じような現象がおこります。作物自体の水分量が少なくなると、体内の肥料濃度が濃くなってしまい、過剰の成分を外に排出してしまうからです。害虫を防ぐためには、作物の様子をしっかりと見て、肥料や水分の最適な量を常に考えることが重要なのです。

この先生は、害虫が作物につきやすいのはどんなときだと言っていますか。

1. 肥料が多すぎたり、水分が不足したりしたとき
2. 肥料が不足したり、水分が多すぎたりしたとき
3. 肥料と水分が不足したとき
4. 肥料と水分が多すぎたとき

27番 先生が、増えすぎた野生動物の管理について説明しています。この先生は、野生動物をどのくらい捕獲するかは、何を基準に決めるのがよいと言っていますか。

最近、シカなどの野生動物の数が増えすぎて、農作物を食い荒らす被害が問題になっています。ただ、野生動物の数の管理というのはとても難しいことです。相手は逃げたり隠れたりするので、狩りを行う人から、山で1頭のシカを見たという目撃情報があったとしても、その山全体に何頭いるのかは見当もつかないのです。でも、実は山での野生動物の目撃件数が増えると、農業被害の件数も増えることがわかっています。ということは、目撃数が一定数以下になるまで野生動物を捕獲すれば、農業被害も少なくなるはずです。つまり、野生動物の目撃件数をもとに、捕獲の目標数を計算し、その目標数を達成するまで捕獲を行うと、深刻な農業被害を防ぐことができるようになるのです。

この先生は、野生動物をどのくらい捕獲するかは、何を基準に決めるのがよいと言っていますか。

1. 野生動物の狩りを行う人の数
2. 目撃された野生動物の数
3. 生息している野生動物の正確な数
4. 野生動物の種類の数